

ブルーム・ネクスト

代表者 大塚 観月 (法学部法学科2年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、学内の環境改善活動にあてはまり、根底に大学を綺麗に華やかなものにしたいという信念がある。主要な活動として毎週火曜日朝7時半～既存の「ほうきの会」への参加や、大学境内でお花を植えている。また、大学行事へのお手伝い、SDGsを意識した取り組みなども行っている。私たちの活動を通して学生にとっても身近な団体にし、そして、地域から認知されるような団体にすることを最終目標に活動している。

2. 実施期間 (実施日)

令和3年5月1日から 令和4年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

①火曜の朝 7:30～行っている清掃活動

定期的な活動であり、ほうきの会に参加されている地域の方や大学関係者の方々、学長や副学長等々多くの方々が参加してくれており、参加者皆で仲良く活動している。

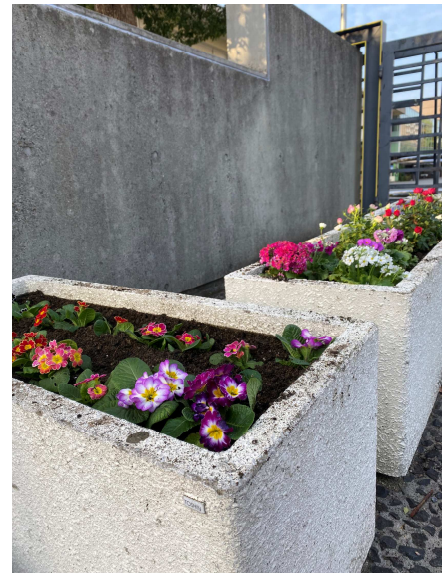
活動を通じて、地域に住む多くの方々とお話をすることができた。携わってくれる地域の方々は魅力的な人が多く、年功者との会話は普段の生活に新たな気付きを与えてくれた。



②大学菜

ブルネクをより多くの人に知ってもらうため、緑地活動を開始。野菜や花、果物を植え、学内に緑が広がった。また、今年度は壊れてしまった鉢植えも捨てずに修理して使用した。

春を迎え、たくさんの植物が花を咲かせ、実を实らせている。自分たちの植えた植物を大きく育てることも今ではやり甲斐の一つになっている。



③県内一斉海ごみクリーン作戦さぬ☆キラ

高松港周辺でゴミ拾いを行った。香川県内の企業やボランティア団体とともに清掃を行った。港周辺にはそれなりにゴミが落ちており、清掃活動を通して、ゴミを捨てさせない、海に流さないよう呼びかけるなど未然に防ぐための活動も大切だと感じた。

海ゴミ問題を始めとする様々な環境問題に目を向けられる良い機会だった。



④SDGsを取り入れた活動

今年度はSDGsを取り入れた活動を行った。捨てるはずのコーヒー豆のカスを充分乾燥させ、それに肥料を混ぜたものを花や葉っぱにかからないように注意しながら花壇にまいた。通常捨てられるものを活用することで、ゴミが出ないので環境に良い。

使用したコーヒー豆のカスは、生協と連携して提供していただいた。今後も様々な連携をとりながら、新たな活動を展開していきたい。



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

私たちの活動を通じ、より豊かな学生生活が送れるような学内はもちろんのこと学外においても環境改善を行うことができた。清掃活動や緑地活動、ゴミ拾いボランティア活動、SDGsを取り入れた活動等の活動を通じて本学や地域にもたらした恩恵はあると認識している。また、地域社会に影響を与えることは私たちの大きな目標であり新型コロナの影響により、多くの活動を自粛せざるをえなかったが、感染対策を行い活動の幅を少しずつ広げることができている。そして、活動を通じて多くの方々から認識していただき、今後の土台となるような信頼関係の構築ができたと考えている。



5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

ブルーム・ネクストでの活動を通してよかったなと感じることは大きく2つある。2つ目は活動を通じて多くの人と出会い、本来なら関わることのなかったはずの年代・立場の方々を知り合えたことだ。携わってくれる地域の方々には魅力的な人が多く、年功者との会話は普段の生活に新たな気付きを与えてくれた。また、メンバーも個性豊かで愉快的な人が多く、何か他の部活、サークルと掛け持ちしている人も多い。互いに話を聞いて影響を受けることも多々あった。2つ目は自分にできることをやってみるという勇気が持てるようになったことだ。私たちはコロナ禍で入学し、大学生活を制限された中で何かをやりたいと思う気力や勇気が低迷していた。そんな中で、自分たちにできることを継続して行うことで1つ目に述べたように人間関係が広がり、やってみようという勇気や原動力が生まれた。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

活動を通し学校内、地域との繋がりは少しずつ広がっている。今後、地域から更に認知してもらい、いつかは必要とされる団体を作っていく。地域活性化が今後の社会的課題になることは明確で、私たちは大学生にできることは何かあるのかを今後も考えていきたい。そして、基本的なことであるかもしれないが、コロナ禍で活動を制限される中で対策を行いながら活動を継続させたい。やる気のある仲間を集い、最終目標である地域から認知されるような団体にするための実現に向けて頑張っていきたい。

7. 実施メンバー

代表者 大塚 観月（法学部2年）

構成員 山田 夏希（教育学部2年）

東 大翔（経済学部4年）

藤本 翔大（経済学部4年）

堀 真人（経済学部4年）

花谷 若菜（法学部2年）

瀬戸 陵（経済学部4年）

尾平 恵介（経済学部4年）

別所 京冴（創造工学部4年）

中原 美咲（経済学部4年）

小松 花菜（教育学部2年）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		77,330円		
執行経費（品目等）	数量	単価(円)	金額(円)	備考
綿持日本一軍手			5,696	
花咲く肥料			1,210	
花と野菜の培養土			12,353	
ヒヤシンス（球根）			594	
アルペット手指消毒用α			5,550	
除菌エタクロス80			5,900	
苗			45,918	
合計			77,221	